

事故報告(注意喚起)

九州地方整備局 港湾空港部
工事安全推進室

管内事務所の工事で発生しました事故について、事故発生の原因及び再発防止対策を取りまとめましたので情報提供致します。

I. 事故概要

発生日時 : 令和7年10月13日(月)9時30分頃

作業内容 : ラフタークレーン乱巻解除作業

被災状況 : 両側手指外傷性切断

II. 事故発生状況

25tラフタークレーンの撤収作業中に、ウインチドラムにおいて補巻ワイヤの乱巻が発生した。乱巻を解消するために一旦ワイヤーを送り出そうとしたが、絡まりによってウインチ操作だけでは送り出しができなかった。そこで、複数名の協力のもと、バックホウを用いてワイヤの引き出しを試みたところ、ウインチ周辺のワイヤに手をかけていた作業員の指が補巻滑車とワイヤに巻き込まれ被災した。



25tラフタークレーン全景



乱巻発生箇所



乱巻発生状況



事故発生直前の再現

Ⅲ. 事故発生の原因

- 1) 予定外作業が発生したにもかかわらず、元請への報告がなされなかった。【報告の不徹底】
- 2) イレギュラーな事象に対して、事前に作業手順を検討せずに安易に作業が行われた。【作業手順の逸脱】
- 3) 複数の協力会社が混在し、指揮命令系統が不明確な体制下で作業が行われた。【指揮命令系統の不備】
- 4) 運転操作ミスにより乱巻が発生し、その解除方法が適切でなかった。【運転操作ミス及び乱巻解除手順の不備】
- 5) 危険個所である回転部付近のワイヤに不用意に手を触れていた。【回転部の養生不備】

Ⅳ. 再発防止対策

- 1) 『イレギュラー発生時には作業を一旦ストップし、元請に報告する』現場ルールの再徹底
これまでの教育・周知に加えて、今後は当日のKY活動において従事者全員がこのルールを再確認できるよう、全作業について、技能者⇒職長⇒元請職員の報告ルートおよび報告方法を事前に明確化し、KY時に全員で確認することを徹底する。また、ルールの周知・定着を図るための啓蒙活動を強化する。【報告の徹底】
- 2) 『作業変更時には職長と元請が協議し、作業手順書に反映する』運用ルールの再徹底
改定された作業手順書は所定の承認者が確認し、元請・職長・技能者の三者による周知会を経て作業を再開する。【作業手順の徹底】
- 3) 非常時等の複数の1次業者が混在する作業においては、元請職員を指揮者として配置することを義務化
作業開始前に指揮命令系統を明確化し、混在作業時の責任所在と意思疎通を明確化し、安全管理体制の強化を図る。【指揮命令系統の徹底】
- 4) 乱巻が発生しないように、オペレーターへの教育(乱巻を起こさないような運転方法)及び機械の定期的な整備・点検を確実に行う。それでも乱巻が発生した場合は、予め定められた乱巻の標準的な解除フローに基づき解除作業を行う。【作業手順の改善】
- 5) 回転部であるウインチドラム及び滑車の周囲を養生し、不用意に手を触れられないようにする。【回転部の養生】